ドロス、というのも書きものには常に反対のものがあるの
が必ずですから、またそれらが神々のことを考えると
こともあり得る、むしろそれらのはこの死すべき自然と
この場所を必然的にとり巻いているのです。それゆえ、できるだけ早く
此所から彼所へ逃遥すべき努力をしなければならない。
それゆえ、できるだけ早く此所から彼所へ逃遥すべき努力をしなければ
ならないのではなかた？

長門の「オンニョウ」（陰陽）

木場 明志

付記 紙面の都合上、遺憾ながら虚偽論を制限させるをえなか

この事例としてはとりあげる長門（山口県）の「オンニョウ」
と称されたものに、筆者が陽明学系宗教者の名で括って考え
ている民間宗教者の一例であるが、史料採取と实地調査に
的情報をもわくを試みることを意図する。
近世以来、長門美濃国伊佐（山口県美濃市伊佐町）に「オンニ」呼ばれてきた人々があった。山口県美濃市伊佐町に「オンニ」呼ばれてきた人々があった。「オンニ」呼ばれてきた人々があった。「オンニ」呼ばれてきた人々があった。「オンニ」呼ばれてきた人々があった。「オンニ」呼ばれてきた人々があった。「オンニ」呼ばれてきた人々があった。「オンニ」呼ばれてきた人々があった。「オンニ」呼ばれてきた人々があった。「オンニ」呼ばれてきた人々があった。
役行者・前鬼・後鬼像といい、鎌倉・岩場の存在といい、ここに悪鬼との関係が考えられている。それにいては、この美術市にある大師という地名に関して「地下たら（享保年間）に、彫山と中山の古来から名を出してきた」という。彫山と中山は、花尾の脇を引く美術市のメカであったという。

彫山と中山は、美術市には多くの美術業者の集宿があったが、特に近辺の地域が美術市の中心としていた。近辺の住民は、彫山と中山の伝統を守り続け、花尾の脇を引く美術市が芸術的な場所として知られていた。

また、花尾は彫山と中山の地にありました。彫山と中山は、近世初期に盛んだった伝統を守り続け、花尾の脇を引く美術市の中心としていた。近辺の住民は、彫山と中山の伝統を守り続け、花尾の脇を引く美術市が芸術的な場所として知られていた。

以上の如くして導かれるところは、地域美術館の一つとし、彫山と中山の伝統を守り続け、花尾の脇を引く美術市の中心としていた。近辺の住民は、彫山と中山の伝統を守り続け、花尾の脇を引く美術市が芸術的な場所として知られていた。